

小千谷の春

春には、小千谷を覆う一面の厚い雪がゆっくりと溶け、色鮮やかな花々が冬の終わりを告げます。4月になると、船岡公園や小千谷市のいたるところで数千本の桜の木に花が咲きます。山本山高原では、1年おきに植えられる鮮やかな黄色の菜の花が咲きます。

4月から5月にかけて開催される船岡公園桜まつりを訪れる人は、一斉に咲いた桜の下で伝統的な音楽や踊りを楽しむことができます。夕方から夜には、満開の桜の木が、ぼんぼりによって照らし出されます。

3月上旬のひな祭りの際は、店頭や家庭でひな人形が飾られます。ひな祭りは、女子を尊重し、その幸せと健康が続くことを祈って、日本全国で行われます。小千谷では、他の地域と異なり、ひな壇の周りの壁に絵紙という木版画が飾られます。人々の活気あふれる光景や自然の景色を描いた絵紙が、タペストリーのように壁に掛けられるのです。

春は、5月にその年最初の角突き（伝統的な闘牛）競技が行われます。最初の試合の前には、東山地区の闘牛場でお清めが神職によって行われます。